

明治四十一年 上半季 本邦鑛業ノ趨勢

第一章 鑛業ノ出願

明治四十一年上半季間ニ於ケル試掘採掘及砂鑛採取ニ關スル出願ノ總數ハ二千四百四十三件ニシテ之ヲ四十一年同季間ニ於ケル出願總數六千六百二十一件ニ比スレハ四千七百七十八件即チ六割三分餘ノ減少ヲ示セリ今出願ノ種類ニ依リ之ヲ區別スレハ左ノ如シ

種別	四十一年上半季出願件數	四十年上半季出願件數	減少件數	同上割合
試掘區變更願	一九七九	五八七〇	三八九一	六・六三
試掘區變更願	八九	一三三	四四	三・三一
採掘區變更願	一五一	二二〇	六九	三・一六
採掘區變更願	一四一	二〇五	六四	三・一二
砂鑛採取願	八一	一九一	一一〇	五・七六
砂鑛採取地變更願	二	二	—	—
計	二四四三	六六二一	四一七八	六・三一

右表ニ依レハ本季ニ於ケル出願件數ハ何レモ著シキ減少ヲ示シ殊ニ試掘願並ニ砂鑛採取願ニ於テ其最モ甚シキヲ見ルヘシ蓋シ前年同季ハ戰後ニ於ケル企業勃興ノ餘勢ヲ承ケ鑛業ノ發展ニ伴フ各

種ノ出願異數ノ増加ヲ來シタル時期ニシテ爾來一般經濟界ノ不況ハ亦鑛業上ニ影響シ漸次如上ノ減少ヲ示スニ至リタルモノナリ

又前記ノ出願ヲ鑛山監督署別ニ示ストキハ左表ノ如シ

鑛山監督署別		四十一年上半季	四十年上半季	減少件數	同上割合
札	幌	三四六	八二四	四七八	五八〇
仙	臺	四八五	一四〇二	九一七	六五五
東	京	五一〇	一五〇一	一〇二二	六八一
大	阪	六二三	一〇二四	四〇一	三九二
福	岡	二四四三	六六二一	四一七八	六三一
計					

更ニ前表中試掘並探掘願ニ付キ之ヲ鑛種別ニ分チ前年トノ比較ヲ示セハ

種別	年次	四十一年上半季	四十年上半季	減少件數	同上割合
金屬山	試掘	一一七〇	四五〇四	三三三四	七四〇
	探掘	九三	一五〇	五七	三八〇
石炭山	試掘	五二九	六二一	九二	一四八
	探掘	三七	三九	二	〇・五一

非金屬山	試掘	探掘
(石炭ヲ除ク)	二八〇	二二
	七四五	三一
	四六五	一〇
	六二四	三二三

ニシテ即チ試掘願ニ付テハ金屬山ハ七割四分、非金屬山ハ六割二分餘、石炭山ハ一割五分弱又探掘願ニ付テハ金屬及非金屬山ハ何レモ三割以上ヲ減シ而シテ石炭山ニ至テハ僅ニ五分ヲ減少セルニ過キス尙ホ試掘及探掘出願數ヲ地方別ニ示セハ左ノ如シ

試掘並探掘出願地方別 (前年同季トノ比較)

地方別	年次	金屬山	石炭山	非金屬山	計	合計
北海道	四十一年	九四	一四七	三五	二七六	二八四
	四十年	二七八	二九七	六六	六四一	六六三
新潟	四十一年	四五	九	一二二	一七六	一八七
	四十年	三三〇	三二	三八六	七四八	七六六
福島	四十一年	四八	一	一	一一九	一二六
	四十年	二二一	一七	一八	二四八	二八八
鹿兒島	四十一年	七六	一	一	一〇九	一一九
	四十年	一九四	七	一	二一三	二二六
秋田	四十一年	六〇	一	一	六二	六六
	四十年	二三〇	一	一	二三二	二四一
巖手	四十一年	五四	一	一	五六	六〇
	四十年	三三七	一	一	三三八	四一四
計						



續業ノ出願

計	香	神	東	大	埼	鳥	滋	愛	神	三	高
計	川	川	京	阪	玉	取	賀	知	知	重	知
四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年	四十二 年
四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年	四十一 年
四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年	四十 年
三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年	三十九 年
三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年	三十八 年
三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年	三十七 年
三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年	三十六 年
三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年	三十五 年
三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年	三十四 年
三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年	三十三 年
三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年	三十二 年
三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年	三十一 年
三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年	三十 年
二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年	二十九 年
二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年	二十八 年
二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年	二十七 年
二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年	二十六 年
二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年	二十五 年
二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年	二十四 年
二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年	二十三 年
二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年	二十二 年
二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年	二十一 年
二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年	二十 年
十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年	十九 年
十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年	十八 年
十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年	十七 年
十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年	十六 年
十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年	十五 年
十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年	十四 年
十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年	十三 年
十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年	十二 年
十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年	十一 年
十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年	十 年
九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年	九 年
八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年	八 年
七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年	七 年
六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年	六 年
五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年	五 年
四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年	四 年
三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年	三 年
二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年	二 年
一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年	一 年
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

前表ヲ通觀スルニ本季ニ於ケル試掘、採掘出願數ハ主要鑛產地ハ勿論其他一般ニ多大ノ減少ヲ來シ  
之ヲ前年ニ比スレバ其數半減以下ニ下リタルモノ多キヲ見ルニ至レリ

終ニ臨ミ既往ニケ年ニ遡リ臨檢通知ニ對スル不立會並ニ許可決定通知ニ對スル登録不申請ノ爲メ  
出願却下ノ件數ヲ比較對照シ以テ現下鑛業不振ノ情態ヲ窺フノ資ニ供セントス

年次	試掘	探掘	計	試掘	探掘	計	試掘	探掘	計	試掘	探掘	計	試掘	探掘	計
三十九年上半季	六三六	二二三	八五九	一四	三	一七	〇・一〇	一〇・九四	一・一三	一・三三	二・四六	三・五九	一・三三	一・五〇	二・八三
四十年上半季	九九八	一六三	一・一六一	一〇五	二	一〇七	〇・二九	二・二八	二・四四	二・七三	三・〇二	五・七五	二・七三	三・〇二	五・七五
四十一年上半季	一・〇五九	二六五	一・三二四	一九	一〇	二九	一・一五	二・三六	三・五一	二・五〇	三・七五	六・二五	三・七五	四・〇〇	七・七五

## 第二章 鑛 産

本季ニ於ケル重要鑛山ノ産額ハ左ニ示スカ如クニシテ之ヲ前年同季ニ比シ産額ノ増加セルモノハ  
銀、銅、硫黄、石炭ノ四種ニシテ金、鐵、及石油ノ三種ハ減少セリ

品名	四十一年上半季産額	四十年上半季産額	比較増減(△印ハ減)
金(砂金ヲ除ク)	二九九・二三二	三一〇・七四〇	△
銀	一四・一三三・三八八	一〇・八五五・九〇九	△
銅	二八・八二八・六八三	二七・九五六・一三七	△
鐵	四・九五四・七九四	五・七七九・八七五	△

鑛産